

「希望大使」と 「認知症ピアサポーター」について

みなさんは、「希望大使」と「認知症ピアサポーター」をご存じでしょうか？

希望大使とは

希望を持って前を向いて暮らす姿や思いを発信する認知症の人本人。



認知症ピアサポーターとは

同じような悩みや体験を共有し、互いに支え合う活動を行う認知症の人本人。



青森県には、認知症ピアサポーター（ピアさん）として活動している方が2名いらっしゃいます！1人目は令和5年3月、2人目は令和5年9月から活動を始めました。

活動当初、「まずはピアさん自身のことを知ってもらうところからはじめよう」との思いから、ピアさん、ご家族、若年性認知症支援コーディネーターさん、町の保健師さんと話し合い、ピアさんのこれまでの体験をまとめた自己紹介文を作成しました。まずはこちらを読んで、ピアさん自身のことを知ってもらい、会話のきっかけを作ることができれば…というねらいでしたが、「ピアさんの体験談を聞きたい！」というご要望が多数あり、今では年間20回以上、県内各地で講演しています。ピアサポーターとしての活動を超え、すでに「希望大使」のような役割を担っていただいています。

今年度は、ピアさん2名を正式に「青森県希望大使」に任命する予定です。これからも、お二人の活動を応援いただけますと幸いです！